

令和8年(2026年)3月24日

報道関係 各位

真庭市役所

## 【情報提供】

### 『ニューガーデン映画祭 2026』開幕！

### オープニング上映は、

### 山崎樹一郎監督最新作・真庭市制 20 周年記念作

期間▶ 令和8年3月27日(金)～29日(日)

場所▶ ビクトリシアター、真庭市立中央図書館

今年で4回目を迎える、ニューガーデン映画祭2026が開幕します。期間は3月27日(金)～29日(日)の3日間。選りすぐりの作品を15作上映します。

初日の27日(金)は午後5時からオープニングセレモニーを開催します。映画祭ゲストも一同に会し、開幕を祝います。映画祭の冒頭を飾るのは、真庭市在住の映画監督・山崎樹一郎氏の最新作『JALAN JALAN』。真庭市制20周年を記念して制作されました。

映画祭当日は、地域の飲食店などとも連携し、真庭の町自体も楽しめる様々な仕掛けを予定しています。ぜひご取材いただきますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

#### 概要▶

##### オープニングセレモニー

- 日時 令和8年3月27日(金) 午後5時～5時30分
- 会場 真庭市立中央図書館3階シアタールーム

##### オープニング 山崎樹一郎監督『JALAN JALAN』上映

- 日時 令和8年3月27日(金) 午後5時40分～6時25分  
\*上映後、監督によるティーチインあり
- 会場 真庭市立中央図書館3階シアタールーム

##### ニューガーデン映画祭2026

- 日時 令和8年3月27日(金)～29日(日)
- 会場 ビクトリシアター(真庭市久世2581)  
真庭市立中央図書館(真庭市勝山53-1)
- 内容 別紙をご参照ください。
- 主催 ニューガーデン映画祭実行委員会  
共催 真庭市立中央図書館  
助成 真庭市

#### お問い合わせ先▶

ニューガーデン映画祭実行委員会(担当・出口)  
TEL090-2319-5605 haru@deguchipr.jp

#### 発信元▶

スポーツ・文化振興課(担当 大倉)  
TEL0867-42-1178 FAX0867-42-1416

<https://ngff.jp/>



# NEW GARDEN FILM FESTIVAL 2026

第4回ニューガーデン映画祭

03.27 fri - 03.29 sun

ビクトリアシアター  
岡山県真庭市久世 2581

真庭市立中央図書館  
岡山県真庭市勝山 53-1



# Statement

text by ニューガーデン映画祭2026実行委員会

映画を通じて、この土地に豊かな根っこが育つような土壌を作りたい。そんな思いを込めて、ニューガーデン映画祭は2023年に岡山県真庭市ではじまりました。今年4回目の開催を迎えます。

今年のテーマは「編集」です。編集は映画にとって重要な行為です。何を見せ、何を見せないかという選択の積み重ねによって形づくれます。それはどのような視点によって行われているのかを考えます。また「エル・パンペロ・シネ」というアルゼンチンのシネマコレクティブ(映画制作集団)の一人、ラウラ・シタレラ監督の映画を特集し、その独創的かつ協働的なコレクティブの制作について触れたいと思います。他にも、ニューガーデン映画祭のひとつの軸として継続する、こどもが映画と出会うためのプログラムにもぜひご期待ください。

3日間の会期中、真庭市内外から多くの人々が訪れ、行き交い、交流し、そしてそれぞれの日常へと戻っていきます。その先々の暮らしの中で、ニューガーデン映画祭で過ごした時間が、少しでも次の何かへとつながるきっかけになればと願います。

映画祭開催にあたり、映画を出品いただいた関係者の皆様、会場となる久世・勝山地域の協賛企業様、助成していただいた真庭市、そしてご協力いただいております多くの方々に、ご理解とご支援を賜りましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

オープニング | OPENING

## JALAN JALAN



2026年 / 日本 / 作品尺未定

監督 山崎樹一郎

編集 小田香

録音 アリ・ルクマン

【上映】

3.27 金 17:40

真庭市立中央図書館

【ティーチイン】

3.27 金 18:25

山崎樹一郎 × 小田香 × アリ・ルクマン



山崎樹一郎 (Juichiro Yamasaki)

真庭市久世、使われなくなった農業用水路、その10kmに及ぶ水の道の所々を歩いてみた。そこから私たちは、この映画の録音スタッフの故郷・東マレーシアのサラワクへ。真庭から遠く離れたサンビエール村に“水”を追ってやってきた。モスク、バナナ、スコール……。南半球のそこは、ここと何も違わず全てが違った。山崎樹一郎とアリ・ルクマンのジャランジャラン=散歩。撮影は小田香(『Underground』監督)。

2006年岡山県真庭市に移住。これまでに真庭を舞台に3作の長編作品を撮っている。22年『やまぶき』は第30回カンヌ国際映画祭ACID部門へ日本史上初選出、第51回ロッテルダム国際映画祭正式出品、第4回大島渚賞など国内外で高い評価を得ている。他『ひかりのおと』(11)、『新しき民』(14)など。

クロージング | CLOSING

## M/OTHER



©1999 WOWOW / バンダイビジュアル

1999年 / 日本 / 147分

監督 諏訪敦彦

出演 三浦友和、渡辺真起子、高橋隆大ほか

【上映】

3.29 日 17:05

真庭市立中央図書館

【ティーチイン】

3.29 日 19:40

諏訪敦彦



諏訪敦彦 (Nobuhiro Suwa)

諏訪敦彦監督の長編第二作。ある男女の暮らしに一人のこどもが現れ、その関係が揺らぎ始める。脚本はなく、監督と俳優の綿密な対話に基づく構成台本のみで進める諏訪独自の手法に三浦友和、渡辺真起子らが挑み、他者性やジェンダー、家族の不確かさを鮮烈に描き出した。本作はカンヌ国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞した。上映後トークあり。

いわゆるシナリオを持たない演出の初長編『2/デュオ』(97)でデビューし、以降作品多数。最新作『風の電話』(19)がベルリン映画祭で国際審査員特別表彰。一方ミニシアター支援の「SAVE the CINEMA」、日本版CNC設立を求める会、こども映画教室®東京芸術大学などで映画をめぐる活動を続けている。

# ラウラ・シタレラ特集

## Laura Citarella's Work: "Collectivize the Cinéma!!"

誰も見たことのない生き物のように、予測不可能な変異と進化を遂げる映画——アルゼンチンの平原をさまよう女性たちを主体とする『トレンケ・ラウケン』と『ドッグ・レディ』は、さまざまな映画のジャンルや物語を参照しながら、そのすべてを超えていく異次元の作風によって世界を驚かせました。監督のラウラ・シタレラは、2000年代からアルゼンチンのインディペンデント映画シーンを牽引している映画制作コレクティブ、エル・パンペロ・シネの中核的存在です。国家や資本に従わず、自分たちの生活と映画づくりを密着させて独自の映画を追求してきたパンペロの作品は、私たちがいまここで他者とともに生き抜くための新しい想像力を示しています。

### トレンケ・ラウケン



2022年 / アルゼンチン、ドイツ / Part1 (128分)、Part2 (132分)  
原題: Trenque Lauquen

監督 ラウラ・シタレラ  
脚本 ラウラ・シタレラ、ラウラ・パレーデス  
出演 ラウラ・パレーデス、エセキエル・ピエリ/ラファエル・スプレゲル、セシリア・ライネロ/フリアナ・ムラス、エリサ・カリカホ、ペロニカ・ジナス  
製作 エル・パンペロ・シネ

### ドッグ・レディ



2015年 / アルゼンチン / 98分  
原題: La Mujer de los Perros

監督 ラウラ・シタレラ、ペロニカ・ジナス  
出演 ペロニカ・ジナス、フリアナ・ムラス、ヘルマン・デ・シルバ、フアナ・サラ  
製作 エル・パンペロ・シネ

【解説】  
3.28 土 18:58 (『ドッグ・レディ』上映後)  
新谷和輝

ピクトリシアター



新谷和輝 (Kazuki Niya)

ラテンアメリカ映画研究者。特にチリやキューバの映画について研究している。主な論文に「証言映画としての『チリの闘い』——闘争の記憶を継承するために」、「不自然な観客のために——ラテンアメリカ映画の宛先」など。NPO法人独立映画鍋共同代表。『トレンケ・ラウケン』(25)、『ユリシーズ』(25)などの配給も手がける。

【上映】

Part 1 | 3.27 金 10:00

真庭市立中央図書館

3.28 土 12:00

ピクトリシアター

Part 2 | 3.27 金 13:30

真庭市立中央図書館

3.28 土 14:30

ピクトリシアター

アルゼンチンの片田舎トレンケ・ラウケンで、ひとりの植物学者の女性ラウラが姿を消す。取り残された二人の男たち—恋人のラファエル、同僚のエセキエル—は、彼女を追って町や平原をさまよう。彼女はなぜいなくなったのか。この土地には何が眠っているのか。映画が進むにつれ物語は予想のつかない多方向へひろがり、謎はさらなる謎を呼び、秘密は秘密として輝きはじめる—。

【上映】  
3.28 土 17:10

ピクトリシアター

ひとりの女性がたくさんの犬に囲まれて、平原を横切っていく。彼女はブエノスアイレス郊外の空き地に自らの手で建てた小屋で、10匹の犬とともにひっそりと暮らしている。金も使わず、言葉も喋らず、社会からはみ出たような謎の女。だが無秩序に肥大化した大都市の周縁には、彼女のような謎が謎のまま存在できる世界が広がっている。

# パースペクティブ・ナウ | Perspective Now

NGFF2026は「編集」にフォーカスします。映画における編集とは一体どういう役割なのか。映画編集者はどういう視点で撮られたラッシュ映像を見て、何をjせて何をjせないかの選択によってどのような物語（ナラティブ）が生まれる現場に立ち会っているのか。現代日本映画の第一線で映画編集を手掛ける大川景子さん、秦岳志さん、聞き手で映画作家の小田香さんが参加し、それぞれが手がけた『マイ・ラブ』、『ケイコ 目を澄ませて』を上映し、映画編集とは何かを知って深めるクロストークを開催します。またイスラエルによるパレスティナの記憶の捏造に抗する『フィダーイー・フィルム』（カマル・アルジャアフアリー監督）を上映します。山形国際ドキュメンタリー映画祭プログラマーの加藤初代さんの解説とともに考えます。

【クロストーク】

大川景子 × 秦岳志 × 小田香 (聞き手)

3.29 日 15:35 (入場無料)

真庭市立中央図書館

## 大川 景子 (Keiko Okawa)



映画編集。初めて撮ったドキュメンタリー映画で編集の難しさを痛感し、東京藝大大学院映像研究科編集領域に入学。卒業後、諏訪敦彦監督『ユキとニナ』の編集アシスタントを務め、以降も劇映画とドキュメンタリー、さまざまな作品の編集を手掛ける。近年の主な作品に太田達成監督『石がある』(24) 横浜聡子監督『海辺へ行く道』(25)、三宅唱監督『旅と日々』(25) など。監督作として『Oasis』(22) がある。

## Oasis

2022年 / 日本 / 56分

監督・撮影・編集 大川景子



【上映】

3.28 土 10:00

ビクトリアシアター

【ティーチイン】

3.28 土 11:05

大川景子

アーティストの舞と自転車ビルダーの林太郎。ふたりは自転車ですべてを縫って走る。移動しながら、心に引っかかったものを写真に収めていく。個人から出発する小さな物語も都市の文化である、という視点から、集めたものたちが舞の作品に昇華していく過程を追う。山形国際ドキュメンタリー映画祭2023出品作。

## ケイコ 目を澄ませて

2022年 / 日本 / 99分

監督 三宅唱

編集 大川景子

出演 岸井ゆきの、  
三浦友和ほか



©2022 映画「ケイコ 目を澄ませて」製作委員会 / COMME DES CINÉMAS

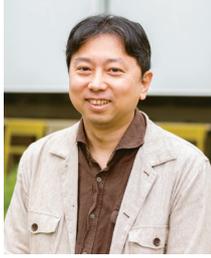
【上映】

3.29 日 13:45

真庭市立中央図書館

嘘がつけず愛想笑いが苦手のケイコは、生まれつきの聴覚障害で、両耳とも聞こえない。再開発が進む下町の一角にある小さなボクシングジムで日々鍛錬を重ねる彼女は、プロボクサーとしてリングに立ち続ける。母からは「いつまで続けるつもりなの？」と心配され、言葉にできない想いが心の中に溜まっていく。「一度、お休みしたいです」と書きとめた会長宛ての手紙を出せずにいたある日、ジムが閉鎖されることを知り、ケイコの心が動き出す――。

## 秦 岳志 (Takeshi Hata)



ドキュメンタリー映画編集/プロデューサー。90年代より「BOX東中野」スタッフとして劇場運営に関わりつつ同事務所映像制作業務を始める。佐藤真監督の『花子』(01)、『阿賀の記憶』(04)、『エドワード・サイド OUT OF PLACE』(05)等に編集で参加。その他、戸田ひかる監督『マイ・ラブ: 6つの愛の物語 日本篇』(21)、黒部俊介監督『日本原 牛と人の大地』(22)、小林茂監督『魂のさせき』(25)など。

## マイ・ラブ：6つの愛の物語 日本篇

2021年 / アメリカ・日本 / 73分

監督 戸田ひかる  
撮影 小田香  
編集 秦岳志



【上映】 3.29日 11:50 (無料)  
【ティーチイン】 3.29日 13:10  
真庭市立中央図書館 戸田ひかる × 秦岳志

世界各地の「長年連れ添った二人」を追うNetflixドキュメンタリー・シリーズの日本篇。ハンセン病療養所で出会った夫婦。偏見差別の蔓延する社会で掴んだ小さな幸せと、日常の中の慈しみが瑞々しく映し出される。撮影に小田香、編集に秦岳志ら日本のインディペンデント映画界の第一線で活躍するスタッフが結集。教育的活動の一環として無料上映。

戸田ひかる  
(Hikaru Toda)



大阪の弁護士カップルとその家族を描いたドキュメンタリー映画『愛と法』(17)は、第30回東京国際映画祭日本映画スプラッシュ部門 作品賞、第42回香港国際映画祭最優秀ドキュメンタリー賞などを受賞。本作は21年4月から190カ国で配信中。23年11月からパレスティナ映画の上映活動・自主配給も行う。

## フィダーイー・フィルム

2024年 / パレスティナ、ドイツ、カタール、ブラジル、フランス / 78分 / 英題: A Fidai Film

監督 カマル・アルジャアファリー  
企画 カマル・アルジャアファリー  
協力 山形国際ドキュメンタリー映画祭、加藤初代



【上映】 3.28 ± 13:00  
【解説】 3.28 ± 14:28  
真庭市立中央図書館 加藤初代 × 秦岳志

3.29日 10:00  
ビクトリシアター

レバノン、ベイルートのパレスティナ・リサーチ・センターが所蔵していたフィルムは、1982年にイスラエル軍が侵攻して奪い、建国の物語を補完する資料としてアーカイブ化されている。そこでは歴史が反転していることを知った作家は、「奪われた者のカメラ」によって映像の意味を転倒させる。圧倒的な不均衡に対する抵抗と歴史の改ざんに対する抗議としてのカウンター・アーカイブ。

カマル・アルジャアファリー  
(Kamal Aljafari)



パレスティナの映画作家、美術家。ベルリンとパリを拠点にドキュメンタリー、エッセイ・フィルム、実験映画などの領域を超えた映像作品を発表している。ファウンド・フットエージを批判的に考察し映像化した作品で注目され、高い評価を受けている。代表作に、『ガザにてハサンと』(2025)、『フィダーイー・フィルム』(2024)、『UNDR』(2024) ほか。

# こどもと映画の週末 | Weekend Ciné Kids

## アニキ・ボボ 4Kレストア版

1942年 / ポルトガル / 72分  
/ 原題: ANIKI BÓBÓ  
監督 マノエル・ド・オリヴェイラ  
脚本 マノエル・ド・オリヴェイラ



©Produções António Lopes Ribeiro

【上映】  
3.28 土 15:20  
真庭市立中央図書館

【解説】  
3.28. 土 16:40  
森田佑一 (Punkte)

3.29 日 15:00  
ビクトリシアター

ポルトガルが誇る巨匠マノエル・ド・オリヴェイラの長編劇映画デビュー作。少女への恋心から人形を盗んだ少年の葛藤を通し、こどもの世界の純真さと残酷な光と影を瑞々しく描き出す。80年の時を経て4Kで蘇る本作は、かつてのこどもと今のこどもが共に楽しめる映画史の至宝。世代を超えて語り合える傑作を、ぜひ親子で体験してほしい。上映後解説つきの回あり。

## アズールとアスマール

2006年 / フランス / 99分  
/ 原題: Azur et Asmar  
監督 ミッシェル・オスロ



© 2006 Nord-Ouest Production - Mac Guff Ligne - Studio O - France 3 Cinéma - Rhône-Alpes Cinéma - Artémis Production - Zahorimédia - Intuitions Films - Lucky Red

【上映】  
3.28 土 17:30  
真庭市立中央図書館

3.29 日 13:00  
ビクトリシアター

特有のエキゾチックな色彩美と装飾的な絵画スタイルに加え、3DCGによる人物描写を見事に融合させ、アフリカで育ったオスロ監督が常にテーマとしている異文化の問題を、実験的な方法で投げかけた人間同士の対立と融和を描く冒険ファンタジー。

## こども映画祭

このプログラムではこどもたちが作った映画を上映します。大川景子さんが講師となり「こども映画教室®プチ@真庭」で制作された作品。小田香さんが特別講師として東京国際映画祭の「TIFFティーンズ映画教室」で作った作品。真庭市で山崎樹一郎さんが講師で関わった「こども映画づくりワークショップ」の作品、岡山県立勝山高校と京都文教大学の共同制作作品。合計4本の短編映画を上映します。制作に関わったこどもや学生の舞台挨拶、また小田香さん、大川景子さん、諏訪敦彦さんをゲストにお迎えし作品講評を行います。

【トークイベント】  
諏訪敦彦 × 大川景子 × 小田香

真庭市立中央図書館

【上映】  
3.29 日 10:00 (トークイベント含む)  
真庭市立中央図書館



小田香 (Kaori Oda)

映画作家。タル・ベアラ主宰の映画教育プログラムfilm.factory第1期生。長編デビュー作『鉞 ARAGANE』(15) が山形国際ドキュメンタリー映画祭・特別賞を受賞。続く『セノーテ』(20) などで、第1回大島渚賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞。最新作『Underground アンダーグラウンド』(24) はベルリン映画祭に出品。土地や人間の記憶、不可視の歴史を掘り下げる独自の映像表現を探索している。

## 心と瞳 (み) る

2025年 / 日本 / 9分 / TIFF ティーンズ映画教室 / 作品提供: 東京国際映画祭 (特別講師: 小田香)



## 先生を探して

2025年 / 日本 / 10分 / 真庭市、NPO 法人勝山・町並み委員会



## きつね日和

2025年 / 日本 / 9分 / 岡山県立勝山高校、京都文教大学



# Event

## シネマ de のみへの



映画を観たら、町へ出よう！ 地元の飲食店でハシゴ酒。1チケットで一品一杯、あるいは映画鑑賞1回分！ チケットはNGFF会場にて購入可。

日時 3.28 土 18:00 ~  
場所 ビクトリアシアター周辺 (久世商店街)  
チケット「シネマ de のみへの」1セット  
(5枚綴り) 4,000円

## ラウンジナイト



山崎映画の聖地で、DJパーティー！

日時 3.28 土 22:00 ~ 24:00  
場所 ラウンジ500 (真庭市惣 134-1)  
料金 チャージ制  
飲み放題 ¥3,000、non-alcohol ¥2,000

## シネマルシェ



真庭市の人気飲食店が揃って出店

日時 3.29 日 11:00 ~ 16:00  
場所 真庭市立中央図書館前広場  
エル・ウラバル

## 関連企画

### こども映画教室® プチ@真庭



日時 3.7 土、3.8 日 10:00 ~ 16:00  
集合 エキマエ・ノマエ (真庭市久世 2426)  
定員 12名 (先着順)  
対象 小学1年生 ~ 6年生  
申し込み info@ngff.jp  
主催 こども映画教室® プチ実行委員会

申し込み



### 第2回 わたしの小さな学校「ふれあいと衝突の間」



撮影：金川晋吾

百瀬文『Social Dance』上映 & 対談  
ゲスト 百瀬文、松村圭一郎  
開催日 3.28 土 10:00 ~ 11:30  
会場 真庭市立中央図書館  
入場料 1,000円 (会場のみにて販売、フリーパス対象外)  
主催 わたしの小さな学校  
助成 公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

申し込み



## Credit

### ニューガーデン映画祭 2026

実行委員長 柴田祥子  
副委員長 出口治  
監事 吉鶴尚美  
プログラム・コーディネーター 山崎樹一郎  
制作補助 吉川諒、長谷浩美  
映写 名和輝明、吉川諒  
パーティーディレクター 河野文雄  
ロゴ原画 岩垣正道 (毎来寺)  
デザイン Poietica  
アートディレクター 平澤洋輔  
映像 池田将  
サウンド・デザイン 江南泰佐  
宣伝 出口治、山本水月  
記録 酒井悠  
制作協力 わっしょいポヘミアン  
託児協力 サポートあい  
マルシェ・コーディネート モッツプランニング

### 協力

ボランティアスタッフの皆様、トードスフィルム、ユーロスペース、WOWOW、ハピネットファントム・スタジオ、山形国際ドキュメンタリー映画祭、Punkte、チャイルド・フィルム、TIFF ティーンズ映画教室、東京国際映画祭、こども映画教室®、勝山・町並み委員会、岡山県立勝山高校、京都文教大学、渋谷哲也、くさのたね、エキマエ・ノマエ、ラウンジ500、Nostalgie Cafe ろまん亭、Mimasaka Beer Works、衆楽舎、Josh、84、patchadams、山高、ランダス・セーフティー (法人格等省略)  
銘建工業株式会社、山下木材株式会社、中国林業株式会社、中国銀行久世支店、合同会社わっしょいポヘミアン、有限会社金田商店、株式会社ムライ

### 映画祭 パートナーズ

主催  
共催  
助成  
後援

ニューガーデン映画祭2026実行委員会  
真庭市立中央図書館  
真庭市  
真庭市教育委員会、真庭観光局、真庭いきいきテレビ、真庭タイムス、山陽新聞社

# Timetable

● 別会場への送迎車あり

色の塗られている時間帯は託児サポートあり。詳細はページ下部に。

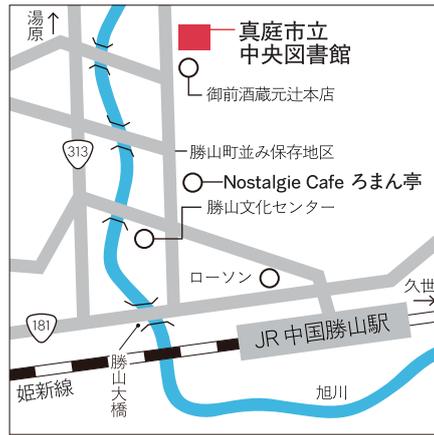
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
27 [金]	真庭市立中央図書館 (勝山)	10:00-12:13 トレンケ・ラウケン Part 1 ● 久世駅から勝山へ送迎			13:30-15:47 トレンケ・ラウケン Part 2				17:00-17:30 オープニングセレモニー	17:40-18:25 JALAN JALAN	18:25-18:55 ティーチイン 山崎樹一郎 × 小田香 × アリ・ルクマン	19:30- オープニングパーティー @ ろまん亭		
	ビクトリシアター (久世)	10:00-11:01 Oasis		12:00-14:13 トレンケ・ラウケン Part 1		14:30-16:47 トレンケ・ラウケン Part 2			17:10-18:53 ドッグ・レディ	18:58-19:35 解説 新谷和輝				22:00- ラウンジ ナイト
28 [土]	真庭市立中央図書館 (勝山)	関連イベント 10:00-11:30 わたしの小さな学校 ● 久世駅から勝山へ送迎			13:00-14:23 フィダーイー・フィルム			15:20-16:37 アニキ・ポボ	16:40-17:10 解説 森田佑一 (Punkte)					
	ビクトリシアター (久世)	10:00-11:01 Oasis	11:05-11:35 ティーチイン 大川景子							18:00- シネマ de のみーの				
29 [日]	真庭市立中央図書館 (勝山)	10:00-11:30 トーク含む こども映画祭 諏訪敦彦 × 大川景子 × 小田香 ● 久世駅から勝山へ送迎			13:00-14:44 アズールとアスマール			15:00-16:17 アニキ・ポボ	17:05-19:38 M/OTHER	19:40-20:10 ティーチイン 諏訪敦彦				20:00- クロージングパーティー @ エキマエ・ノマエ
	ビクトリシアター (久世)	10:00-11:23 フィダーイー・フィルム	11:00-16:00 シネマルシェ			13:45-15:30 ケイコ 目を澄ませて		15:35-16:45 クロストーク 大川景子 × 秦岳志 × 小田香						

## Access

ビクトリシアター  
(真庭市久世 2581)



真庭市立中央図書館  
(真庭市勝山 53-1)



【駅から会場まで】

ビクトリシアター：JR久世駅から徒歩5分

真庭市立中央図書館：JR中国勝山駅から徒歩15分

【電車】

JR岡山駅→〈津山線〉津山駅→〈姫新線〉久世駅/中国勝山駅

JR岡山駅→〈伯備線〉新見駅→〈姫新線〉久世駅/中国勝山駅

【バス】

JR岡山駅前 or 岡山天満屋バスセンター→〈中鉄バス/中鉄北部

バス〉久世駅前/中国勝山駅

京都・大阪(梅田)→〈神姫バス or JRバス〉津山駅

【乗合タクシー】

岡山空港→津山・真庭市方面

【自動車】

岡山方面から 岡山自動車道 経由 中国自動車道：落合IC下車

大阪方面から 中国自動車道 経由 米子自動車道：久世IC下車

## Ticket

前売り券はwebにて販売中。当日券は会場にて販売。

一回券	フリーパス	シネマ de のみ〜の
前売り ¥1,000	前売り ¥5,500	1セット ¥4,000 ※会場にて販売
当日 ¥1,300	当日 ¥6,500	

託児サポートあり。3/19(木)までに  
メール (info@ngff.jp) にお申し込みください。

ボランティアスタッフ募集  
info@ngff.jp へお問い合わせください

高校生以下無料

Web

